

福島県産林業

No. **602**

題字 福島県知事 佐藤雄平



10 2014

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■深まりゆく秋



「技の数だけ 庭がある」

一般社団法人福島県造園建設業協会
会長 櫻井 貞夫

「技の数だけ庭がある」このキャッチコピーで第三回全国造園技能競技大会が十月十七日～十九日、京都で開催されます。京都府立植物園を会場に二人一組、女性チームを含め、各地方よりの代表チーム十六チームが技を競い合います。今年のテーマは「庭のある暮らし2014」同じ材料・制限時間（十一時間）の中で二平方メートルの庭づくりの技とアイデアを競う庭師のアスリートの戦いが繰り広げられます。

この大会は、一般社団法人日本造園組合連合会の主催で、意欲ある技能者に夢と希望を与え、技能労働者の活性化を図ることが目的であります。大会終了後、一般に公開され、市民投票がおこなわれ、市民に造園の魅力を発信する二年に一回開催される大会です。

今回の大会に、本県より東北六県の代表として出場する会津のチーム（玉木造園(株)二名）がおります。チーム名は「会津新鮮組」であります。そのコンセプトをご紹介します。『ふくしまからはじめよう』のキャッチコピーとともに福島県はいま復興の途半ばであります。想定外の災害にも見舞われ、癒しの緑が姿を変えてしまったこの被災の現実を背負って、史上最強にして最高の剣客集団「新鮮組」の如く「会津新鮮組」が誕生。四季折々の会津の風土で育ててきた瑞々しい感性をいかした「会津新鮮組」が出陣のノロシをあげる』であります。三〇代と二〇代の若い庭師さんですが、会津武士道の精神で心意気は、熱く、深く、そして清々しいのです。

我が業界は、現在は緑豊かな県土の再生へ向け、除染作業が主ですが、今回の造園の技を競う全国大会への出場は、若手技能者の未来へ続く「道」の始まりであります。

除染作業ももちろん重要ですが、今後「作庭の技」の向上等々、除染作業の先に繋がるものを協会としても模索していかねばなりません。

そして再び基本に戻り「庭のある暮らし」がどんなに優しく、その四季折々の姿に、心豊かな日々が過ごせることか、伝えていくことを使命と考えております。十月十九日には大会の結果がですが、その結果を待たず、若い二人が福島県の会津魂のこもった表現で、観るものの心に、会津の、そしてみちのくの風を吹き込むだろうと確信しております。

《も く じ》

とびら	森林づくり県民講習会……………	6
「技の数だけ 庭がある」	緑の募金コーナー……………	7
一般社団法人福島県造園建設業協会	森と生きる……………	8
会長 櫻井 貞夫……………	普及指導員通信……………	9
おいしい ふくしまいただきます!フェスティバル…	森林管理署メモ……………	10
第69回 全国植樹祭の本県開催をPR……………	木連だより……………	11
第39回 福島県林業祭……………	木材市況・ふくしま東西南北……………	12
きのご振興センターだより……………	はなしのひろば……………	13
東北・北海道林業グループコンクール…		5

食の祭典

「おいしいふくしまいただきますー！」
フェスティバル

福島県農産物流通課

食の祭典「おいしい ふくしま
いただきますー！」フェスティバルが、
九月六日(土)、七日(日)の二日間、
いわき市アクアマリンパークにおい
て開催されました。

このイベントは、「ふくしまから
はじめよう。」「食」と「ふるさと」



新生運動推進本部と福島県の共催に
より、将来を担う子供たちに、「食」
と「ふるさと」をしつかりと引き継
ぎ、ふくしまから新しい流れを創っ
ていこうという、未来への意志を込
めたスローガン「ふくしまから は
じめよう。」の理念のもと、風評に
負けずに頑張っている「食」に関わ
る事業者の皆様方の力を結集し、豊
かな農林水産物や特色ある六次化商
品、ご当地グルメなどを広く集め、
ふくしまの「食の魅力」を、県内を
はじめ全国に発信し、東日本大震災
や原子力災害からの復興を図るため
に開催したものです。

これまでは、「ごちそうふくしま
満喫フェア」の名称で、中通り地方
を会場としてまいりましたが、本年
度は、震災の被害がより甚大であつ
た浜通り地方を元気にするため、い
わき市での開催となりました。

実りの秋を迎えた新鮮な梨やぶど
う、しいたけなどの多彩な農林水産

物を始め、浪江焼きそばや白河ラー
メン、会津地鶏の焼き鳥など、浜・
中・会津の各種ご当地グルメ、六次
化により開発された特産品、二年連
続で全国新酒鑑評会で金賞受賞数日
本一となった地酒など、県内各地か
ら一二〇を超える事業者や団体が会
場に集まり、いずれもふくしまの豊
かさと素晴らしさ、さらには安全・
安心を実感していただけるものが勢
揃いしました。

メインステージでは、オーブニン
グを飾ったいわき市立平第三小学校
吹奏学部の演奏を始め、各種音楽イ
ベント、お笑いステージやキャラク
ターショー等、大人から子供まで楽
しめる催しが大盛況でした。

さらに会場には、起き上がり小法
師の絵付け体験ができるキッズコー
ナー、お米の重さ八八割当てゲーム
などの体験型ブースや、ふくしまの
「おいしい恵み」を知っていただけ
るクイズラリー、食の安全・安心取



組ブースなど、販売以外の多様な
ブースが設置され、非常に盛りだく
さんの内容でした。

二日間ともに天候にも恵まれ、県
内はもとより、首都圏等からのお客
様も多数来場され、二日間で延べ四
一、〇〇〇人と大変多くの方々にご
来場いただき、ふくしまの「食の魅
力」を存分に堪能していただきました。

今回のイベントには、多くの企
業・団体からの御協賛と、関係各所
に多大なご協力をいただき、「ふく
しまの今」と「ふくしまの食の魅力」
を非常に多くの方々にご発信するこ
とができました。この場をお借りして
御礼申し上げます。

第69回 全国植樹祭の本県開催をPR

「ふくしま復興・未来の森づくり基金」への寄附第1号

フェスティバル会場には、平成30年本県で開催される第69回全国植樹祭の気運を盛り上げる「全国植樹祭記念広報ブース」を設け、PR活動が行われました。

そのブースの前で、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会が創設した「ふくしま復興・未来の森づくり基金」への第1号となる寄附金が、農林中央金庫福島支店有田支店長から齋藤協会会長に贈呈されました。齋藤会長は、「福島を育む、全国植樹祭の成功のため有効に活用したい。」と決意を新たにしていました。

「ふくしま復興・未来の森づくり基金」は、福島県から公益目的事業として認定を受け、ふくしまの森が未来も豊かであり続けるよう森と人との絆や、森・川・海の自然のつながりを大切にする共生と循環の理念に基づいた森づくり活動や次世代の主役となる青少年の育成活動等を支援するため創設されたもので、広く県内外の個人や団体、企業等のご協力によって造成し、平成30年本県で開催される「全国植樹祭」を契機として、さらに森づくり活動を進めていくため活用することとしています。



PRブースの前での贈呈式

第39回 福島県林業祭

東日本大震災からの復興を目指した取組状況をお知らせするほか、様々な体験イベントや県産農林水産物の試食コーナー、展示販売コーナーもありますので、ご家族おそろいでお越しください。

1 日程

平成26年10月25日(土) 10時～16時
10月26日(日) 9時30分～15時30分

2 会場

郡山市安積町「福島県林業研究センター」ほか

3 主な行事

- ア 林業関係表彰式
- イ 林業関係の復興に関する展示
- ウ 体験・イベント等
 - ・木工工作
 - ・森のコンサート
 - ・チェーンソーアート
 - ・木のおもちゃワークショップ等

4 共催行事

- ア 林業復興講演会
 - ・日時 10月26日(日) 10時30分～12時
 - ・場所 郡山市「ホテルバーデン」
- イ 第5回福島県チェーンソー選手権
 - ・日時 10月26日(日) 9時30分～15時
 - ・場所 福島県林業研究センター「多目的広場」

5 併催行事

- ア 福島県きのこと復興まつり
- イ 森林所有者経営相談会

6 お問い合わせ先

福島県林業祭実行委員会事務局
(福島県林業振興課) (TEL 024-521-7426)

「おいしいふくしまいただきます！」 フェスティバル2014」に 参加しました

（公社）福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター
業務課 鈴木敏彦

福島県の食の魅力を発信する食の祭典「おいしいふくしまいただきます！フェスティバル2014」が福島県等の主催で、去る九月六日（土）、七日（日）の二日間、小名浜港アクアマリンパークで開催され、当協会きのこ振興センターも参加し、きのこ産業の早期完全復興に向けて県産きのこPRとセンターの活動紹介を行いました。

フェスティバルは、県内各地の名物料理や農産物を加工した特産品等、その数一二〇を超える店舗が参加し、天候にも恵まれ多数の来場者となりました。当センターブースでは、「ふれあうきのこ栽培」と称して楽しみながら育て、鑑賞後に調理して食べてもらう、との趣旨で企画した、手作り県産材オリジナル木箱入り公社PR用きのこ鑑賞栽培セットの販売、安全な県産きのこをPR

Rするためには当センターで栽培したヒラタケ、タモギタケなどの生きのこの販売、きのこ類需要拡大と風評払拭目的で地元（郡山市）味噌製造業者の協力で県産きのこを使用した「舞茸おこわ、餡かけ焼きそば」の実演販売を実施しました。何れの企画も完売となるなど好評のうちに終了し、中でも鑑賞用きのこ栽培セットは身近できのこ栽培が体験できるとあって、多くの人が興味を示し買い求めていました。

今回のフェスティバルでは浜通り地区のきのこ栽培者、関連企業によるきのこの特色を生かした出展も多くみられ、何れのブースも人で溢れ、復興の手ごたえが実感できる結果となりました。

今後も引き続き様々なイベントに積極的に参加し、県産きのこのPRに努めてまいりたいと思います。



イベントの様子 {（公社）福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター}

●●● 福島県きのこ復興まつり ●●●

1. 期 日
平成26年10月25日（土）～26日（日）
（第39回福島県林業祭と同時開催）
2. 場 所
郡山市安積町成田
「福島県林業研究センター」
3. 開催内容
 - (1) きのこ料理教室
 - ① 料理教室
 - ・25日及び26日の各1日1回開催（時間は要確認）
 - ・料理は伝統食の「きのこおこわ」と「こづゆ」
 - ・きのこはきのこ振興センターで栽培したものを使用
 - ・講師は郷土料理研究家「宗像カツ子」氏
 - ② 料理試食
 - ・料理教室終了後、「きのこおこわ」と「こづゆ」の試食
 - ・試食は、それぞれ1日100食（計200食）
 - (2) きのこ品評会
 - ・県内で栽培された安全で高品質のきのこを表彰
 - ・出展されたきのこは購入希望者に販売
 - (3) 生きのこの販売
 - ・きのこ振興センターで栽培した生きのこを販売（1日150セット）
 - ・きのこ栽培木箱セットも販売（2日で80セット）
4. お問い合わせ先
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター TEL 024-947-2188

東北・北海道ブロック林業グループコンクールで 館岩地区林業振興協議会が優秀賞を受賞

福島県南会津農林事務所

九月三日・四日、全国林業研究グループ連絡協議会等の主催による平成二六年度東北・北海道林業グループコンクールが岩手県盛岡市で開催されました。

このコンクールは、林業技術の向上と林業経営の発展のため、自主的な活動・研究を実践している林業グループが相互の発展・資質の向上を図ることを目的として開催され、各道県を代表して七グループが日頃の体験・成果を発表しました。



コンクール会場

本県代表として参加した館岩地区林業振興協議会は平成五年に設立され、カラマツの利活用や教育旅行における林業体験指導などに取り組んできました。今回の発表では同協議会が震災以降取り組んできた、避難者との交流による「絆の森づくり」、風評被害払拭の足がかりとなったPR活動や出前講座の実施、関東圏の中学生を対象とした林業体験教室と「震災復興の森づくり」、二〇一三〇

代の地域住民と大学生が一緒になった林業技術研修会の開催などについて、会員の鈴木秀明さんと阿久津秀幸さんから報告されました。各グループとも熱意のこもった発表で、地域貢献度の高さや、女性ならではの視点で取り組んだ木育活動、高校生への林業体験活動、次世代への林業技術の継承など、幅広い活動内容を短い発表時間で精一杯にアピールしていました。

発表の後、ノースジャパン素材流通協同組合常務理事の高橋早弓氏が『北日本における最近の木材需給動



優秀賞を受賞した館岩地区林業振興協議会

向について「N J 素流協の取組み」と題して講演を行いました。国産材の安定供給に向けた実証実験や、木質系資源の有効活用など、木材流通における様々な取り組みについて報告されました。

その後、講評と審査結果の発表があり、津山町林業研究会（宮城県）が最優秀賞に選ばれました。地域の実情を踏まえた主体性のある活動内容や地域への波及効果などが評価を得ており、特に、高校生への林業体験の実施は高く評価されました。次点の優秀賞には本県の館岩地区林業振興協議会が選出され、避難者との林業体験を通じた交流が復興への足掛かりとなったことなど、地域との関わりを大切にしてきた幅広い取組みが、林業後継者の育成へとつながったことが高く評価されました。

現地研修では、小岩井農場（小岩井農牧株式会社山林部）の人工林を視察しました。小岩井農場の総面積約二、〇〇〇畝という広大な敷地の内、約一、〇〇〇畝を超える森林の九五割は人工林であり、帯状間伐による更新や法正林による持続可能な森林経営が実践されていることに、参加者全員、興味が尽きないようでした。

なお、今回、優秀賞を受賞した協議会では、今回の受賞を励みに地元の期待に応えられるよう、がんばっていききたいとのことでした。今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。（注）館岩地区林業振興協議会の活動は、十月二十五日、二十六日に開催される福島県林業祭で紹介されます。



現地視察の様子

森林づくり県民講習会を開催

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

平成二六年七月三日(木) 福島市の杉妻会館において、「※海岸防災林再生等復興支援事業」の一環として、森林づくり県民講習会を開催しました。

昨年度は県中地域の県民を対象として開催しましたが、今年度は県北地域の県民を対象としてご案内申し上げましたところ、約五〇名のご参加をいただきました。

本講習会は、森林づくり活動を行っているボランティア団体や、今後、森林づくり活動への参加を考えている県民を対象として、放射線の基礎知識を学習していただくとともに、野外において空間線量計を用いた空間線量測定実践を通して、地域環境を再確認することにより、森林づくりや森林整備への参加意識の向上に資することを目的に開催したものです。

放射線の基礎知識に関する講演で



講師の熊谷博士

は、昨年に引き続き福島県立医科大学災害医療総合学習センター副センター長の医学博士熊谷敦史先生を講師にお迎えして、「福島の実状で生活における放射線リスク」という演題でご講演をいただきました。講演の内容は、放射性物質に関する基礎知識と県民が抱えている放射線に対する不安に対処されたもので、分かりやすく丁寧に説明して

いただきました。

参加者の職種は、森林づくりに関わるNPO法人、緑の少年団育成会、林業事業体、森林土木建設業、農園経営、苗木生産業等多岐にわたり、いずれも野外で活動する機会が多いことから、放射線に関する基礎知識について有意義な講演であったと考えています。

次に、福島県農林水産部森林保全課の鈴木主任主査から、県民の森で実施した森林除染の実例から「空間線量の測定と森林除染について」の報告を受け、その後、全員阿武隈川の河原に移動し、NaIシンチレーション式サーベイメーターを用いて空間線量測定方法について実践指導を受けました。

参加者は、線量計を手に取り裸地と草地の線量の違い、高さによる線量の違いを確認しながら最後まで熱心に学習されていました。

参加者は、「放射線に関する様々な情報に日常生活において困惑していたが、講習会で専門家の話を聞き放射線とはどういうものか、さらに、放射線が人体に及ぼす影響はどの程度なのかについて理解を深めること

ができた。今回の講習会で得た知識を日常生活や野外活動に活かしていきたい。」と話していました。

※海岸防災林再生等復興支援事業は、林野庁が復興庁の予算を活用して、東日本大震災で甚大な被害を受けた海岸林の再生に向けた取り組みにおいて、地元住民やNPO、企業等が植栽や保育を進める仕組みづくりを支援するものです。

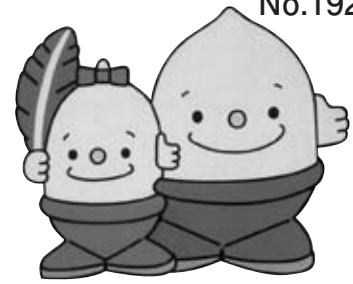
本講習会は、この事業の一つであるボランティアへの技術支援として開催いたしました。



空間線量を測定する出席者

緑の募金コーナー

No.192



平成二六年度春季緑の募金実績がまとまりました
 おかげさまで昨年を超える募金をお寄せいただきました
 御礼申し上げます

平成二六年度は、昨年の春季募金額より約一三万八千円増加し、別表のように約五、七四七万円のご寄付をいただきました。多くの県民の皆さま及び関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

緑の募金の用途につきましては、各地域の緑化推進委員会との緑化事業や「緑の少年団大会」をはじめ「うつくしま育樹祭」など各種イベントの開催、また学校やボランティア団体等の緑化活動の支援など、本県の緑化運動に役立ててまいります。

秋季緑の募金活動の実施について

秋季緑の募金活動は九月一日から十月三十一日までの二ヶ月間を「地球温暖化防止等に向けた緑の募金キャンペーン」として、「緑の羽根」着用の呼びかけ、緑の募金箱の設置等を実施いたします。

今年八月に広島県で起きた記録的豪雨による大規模土砂災害など全国各地で地球温暖化に起因すると思われる異常気象による自然災害の増加が懸念されるなか、緑化推進、森林の整備等、緑の募金を通じた諸活動について一層の進展が求められています。皆さまのご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

募金に関するお問い合わせは、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局 緑化推進課（旧福島県緑化推進委員会）または各地域の緑化推進委員会までお尋ねください。

〒九六〇―一八〇四三
 福島市中町五―一八（福島県林業会館内）
 （公社）福島県森林・林業・緑化協会
 緑化推進局 緑化推進課
 TEL 〇二四―五二四―一四八〇
 FAX 〇二四―五二一―三二四六

平成26年度「春季緑の募金」実績

市・地方緑化推進委員会	募金目標額	募金実績額	達成率(%)	募金の種類				
				街頭募金	家庭募金	企業募金	職場募金	学校募金
福島市緑化推進委員会	9,300,000	4,007,791	43.1	66,390	0	1,731,336	789,315	1,420,750
伊達市緑化推進委員会	2,300,000	2,528,782	109.9	111	1,980,752	212,653	267,888	67,378
伊達郡緑化推進委員会	1,400,000	1,524,864	108.9	50,834	1,065,810	222,000	163,649	22,571
二本松市緑化推進委員会	2,100,000	0	0.0	0	0	0	0	0
本宮地域緑化推進委員会	1,300,000	1,671,547	128.6	851	982,600	488,173	123,935	75,988
国土緑化郡山市推進委員会	11,100,000	10,339,573	93.1	1,140	6,539,400	1,080,353	830,137	1,888,543
須賀川市緑化推進委員会	2,600,000	1,349,771	51.9	32,927	364	703,360	335,250	277,870
国土緑化岩瀬地方推進委員会	600,000	654,762	109.1	2,945	488,000	3,510	88,071	72,236
田村地方緑化推進委員会	2,600,000	3,434,607	132.1	45,797	2,377,650	385,716	577,699	47,745
国土緑化石川地方推進委員会	1,800,000	1,936,353	107.6	354	1,079,500	272,540	227,132	356,827
白河市緑化推進委員会	2,200,000	713,944	32.5	0	0	493,048	220,896	0
国土緑化西白河地方推進委員会	1,600,000	1,983,419	124.0	4,236	1,335,100	403,228	209,086	31,769
国土緑化東白川地方推進委員会	1,500,000	1,314,341	87.6	104	877,560	161,830	227,109	47,738
会津若松市緑化推進委員会	4,500,000	5,435,480	120.8	118,994	3,491,220	549,000	740,352	535,914
両沼地方緑化推進委員会	2,000,000	1,849,197	92.5	783	1,555,293	117,000	176,121	0
会津耶麻地方緑化推進委員会	1,200,000	1,376,146	114.7	510	1,031,700	80,000	121,959	141,977
喜多方市緑化推進委員会	2,000,000	2,464,393	123.2	42,938	1,628,800	312,000	480,655	0
南会津地方緑化推進委員会	1,400,000	1,704,667	121.8	61,563	1,350,200	62,000	204,604	26,300
相馬地方緑化推進委員会	4,400,000	392,787	8.9	0	45,600	0	347,187	0
双葉地方緑化推進委員会	2,600,000	0	0.0	0	0	0	0	0
いわき市緑化推進委員会	11,500,000	12,034,192	104.6	78,447	8,567,307	1,182,087	1,671,671	534,680
小計	70,000,000	56,716,616	81.0	508,924	34,396,856	8,459,834	7,802,716	5,548,286
事務局	0	756,269	-	17,678	0	358,250	380,341	0
合計	70,000,000	57,472,885	82.1	526,602	34,396,856	8,818,084	8,183,057	5,548,286

※街頭募金にイベント募金、常設募金等を含む。

森と生きる

今、咲き誇る、林業家人生五〇年

西会津町指導林家 田崎 眞平

私が林業を志したのは中学三年生の時。父母の背中を見て、「よし、農林家になるぞ」と決め、高校は林業科に進みました。

十九歳の時、親に頼んで自分の山〇・八畝を購入しました。

二〇歳の時、さらに一・五畝を購入し、この山の中を散策していたら、炭焼跡地に自然に育った三五年生位の立派な桐の木があり、この桐の木との出会いが林業家人生に変革をもたらしました。

二二歳の時、桐を取り入れた林業経営で県知事賞を受賞したある女性と文通し、桐の植え方、育て方などの教えを受けました。

二二歳の時、結婚。西会津町に婿入りし、義父と義祖父のもとで農林業を始めました。当時は、桐の値段が非常に高く春と秋に売っていましたが、雪深く十一月中旬から四月末までは収入がなく、正にふところがない業でした。

あれから四〇年。「夢は会津一の一〇〇年杉所有と一、〇〇〇本の桐保有」へを実践してまいりました。

杉は、一五〇年生（六代前）を筆頭に一〇〇年以上（五代前）の杉林が一四カ所、一〇〇年生までが三八カ所、優良木生産を目標に楽しんで手入れをしています。

桐は、日本一の所有者になりたくて植栽面積を一・五畝から五・五畝に拡大し一、〇〇〇本の保育管理をしてきました。今、その売り時を迎え、植栽するとき父や祖父から「きちんと育てることにより、一本の値段も一〇〇本の値段も同じになる」と言われ実践してきたことが、桐の値段が安くなったとはいえ、良い木は金の木です。

今私は、人生をかけた林業への思いは充分やりきったという感じがして大満足しています。夢が実現するには困難と苦労がありますが、その一つ一つが楽しかったです。私ができた最大の功労者は、ある女性です。

何十年たっても頼れる明るい女性だ、まさに私の専属指導林家（妻）です。

平成二三年の原発事故によって引き起こされた風評被害でナメコ缶詰、杉、桐に大打撃です。今までは息子夫婦、孫と一緒に生活してきましたが、ナメコ缶詰の現金収入が激減したため、やむを得なく息子たちは他に務めることとなり、初めての二人きりの新婚生活です。よし「災い転じて福となす」にはどうできるのか、実力が試される試練かなーと腹が決まり、また闘魂パワーに目覚めたように、腰を落として林床と桐畑を活かしたゼンマイ栽培、自然に生い茂るフキ、ワラビ、ウドの畑地造成をして山菜生産加工商品開発にと取り組んで四年目です。

今後「いかなる社会経済の変動があってもビックともしない経営基盤の確立を図る」ため、森林が持つ多面的機能を十分に活かして林業家人生雄々しく健やかに過ごして生

きたいと思っています。

花は咲く、林業家人生五〇年となり、夢成就で誇りに満ちた最高の人生をずっと送られるよう、さらに努力していきます。

（注）会津地方は、娘が生まれたとき桐を植栽し、大切に育ててきました。今でも福島県は、日本一の桐生産量を誇っています。



桐は、昭和50年頃植栽したものです。ゼンマイは、平成24年の秋植栽したものです

南湖公園内の松くい虫防除について

■県南農林事務所

林業普及指導員 武藤 司

南湖公園は白河市の中央部から程近くにあり、白河藩主松平定信（楽翁）公が木を植えたり景色を変えて築造した日本最古の「公園」とも言われており、国指定史跡名勝、県立自然公園に指定され市民や観光客に憩いと潤いを与えています。

しかし、このところ松くい虫被害によって赤く枯れた松が目立ち、市民から被害の通報が多く寄せられるようになり、当公園を観光の目玉として位置づけている白河市役所からも被害防止に関する相談を受けています。

このような状況から、従来からの松くい虫被害対策防除計画と市町村森林整備計画を基に、改めて南湖公園周辺の松くい虫被害対策の再検証を行うこととしました。



南湖公園の周辺における松くい虫の被害は、昭和51年度に初めて発見され、白河市では昭和52年度からヘリコプターによる薬剤の空中散布を開始しました。薬剤散布は途中一時的な中断があったものの平成6年度から再開され、現在に至るまで継続的に行っています。

また、松くい虫に感染してしまった被害木については、伐倒・くん蒸による駆除を行っていますが、処理後の被害材が放置されることによって公園内の景観を損なうとの意見もあり、人目に付く場所については破砕による特別伐倒駆除を合わせて実施しています。

南湖公園内の松くい虫被害量は近年100㎡前後で推移しており、「保全すべき森林」に指定されているため全量駆除に努めていましたが、高温の影響か平成25年度には被害量が363㎡と大幅に増加しました。平成26年度も250㎡程度の被害量を想定しており、衛生伐や単独事業等を併用するなどして今後も全量駆除に努める必要があると考えます。

薬剤防除に加え、被害木の全量駆除を行っているにもかかわらず、南湖公園内の被害が減らない要因の一つとしては、周辺からのマツノマダラカミキリの飛び込みが考えられるので、今後市とともに被害量調査などを実施していければと思います。

南湖公園内被害量・駆除量の推移					
	H22	H23	H24	H25	H26（見込）
被害量（㎡）	94	134	67	363	250
駆除量（㎡）	94	134	67	363	250

11月のお知らせ

◇森林づくり研修会

期日 11月7日(金)
場所 郡山市「ホテルガーデン」
対象者 林業就業者、
林業関係団体

お問い合わせ先

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
林業労働力確保支援センター
(TEL：024-521-3270)

◇海岸防災林シンポジウム

期日 11月21日(金)
場所 いわき市
「アリオス(いわき芸術文化交流館)」

お問い合わせ先

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
緑化推進局
(TEL：024-524-1480)

◇塙町産業祭（県産材PR事業）

期日 平成26年11月23日(日)
場所 塙町「塙小学校」
内容 県産間伐材を活用した「木工教室」等

お問い合わせ先

塙町振興課
(TEL：0247-43-2118)

森林管理署メロ

ナラ枯れ防除の 取り組み

会津地方では、平成十二年以来、カシノナガキイムシ（以下「カシナガ」という。）によるナラ枯れ被害が多数確認されています。

ナラ枯れの原因は、病原菌であるナラ菌がカシナガにより健全なナラ類の樹幹内に大量に運ばれることで発生します。ナラ枯れ被害をなくするには、①病原菌のナラ菌を殺菌するか、②病原菌を運ぶカシナガを殺虫するか、③寄生されて枯れるナラなどの木を切って無くしてしまうか、いずれかひとつ達成する必要があります。

会津森林管理署では、山形県森林研究研修センターの指導のもと、平成二三年度から、カシナガを大量に誘引し効果的に駆除できる「おとり丸太法」によるナラ枯れ防除事業を実施しています。

おとり丸太法とは、大量に集積し



会津森林管理署

たナラ類の丸太にカシナガを誘引し、その丸太をチップ等にする事で、物理的に殺虫する方法です。そのチップは燃料用や製紙用として利用することができます。

おとり丸太は、使用する一ヶ月以内に伐採した健全木のナラ類で、末口一五センチ以上、長さ二メートルとします。



大量集積型おとり丸太

おとり丸太の設置箇所は被害地に近いきぎ林とし、設置時期はカシナガが羽化し始める六月に、高さ一〜二メートルで約二

〇立方メートル集積し、誘引合成フェロモンを二個装着、丸太上部にスギの枝条を覆い被せ乾燥を防ぎます。

丸太を大量に集積すれば木口面から木の匂い（カイロモン）が空気中に発散してカシナガを誘引します。さらに誘引合成フェロモンを併用することでより多くのカシナガを誘引でき、その後はカシナガ自身が出す天然集合フェロモンで無駄なく丸太にカシナガを集めることができます。カシナガの集まった丸太は木質、バイオマス発電の燃料チップとして売り払っています。

平成二四年度から大沼郡金山町の国有林において、三ヶ年継続して同一箇所でおとり丸太法を実施しました。カシナガの穿入虫数は、二四年度が約二万個体／立方メートル、二五年度が一万五千個体／立方メートルと減少し、周辺で枯死木が確認されなくなった二六年度には約一千四百個体／立方メートルまで激減しました。設置時は中害レベルでしたが、三年目には枯死木が周辺にはない跡地へと推移し、微害レベル（おとり丸太の穿入虫数一万個体／立方メートル）をはるかに下回る結果となったことから、金山町の被害地では三ヶ年継続したおとり丸太の設置で虫密度が低下し、周辺へのカシナガの分散を抑制したと考えて



樹幹注入実習

います。また、大量集積型おとり丸太は虫密度を表す指標として有効であると考えられました。

おとり丸太に穿入したカシナガの個体数調査は、毎年九月中旬、会津流域林業活性化センターとの共催で、県や市町村、林業事業者等の担当者を対象とした研修会として実施しています。平成二六年度は高濃度殺菌剤の樹幹注入実習を行い、低コストで効率的な予防方法を習得しました。

ナラ枯れ被害は官民の垣根を越えて取り組む必要があります。今後とも関係機関と連携しながら、民有林も含めた防除を実施できるよう取り組んでいきます。

木連だより

木材利用ポイント制度

—申請期限の延長決定—

木材利用ポイント発行申請期間及び交換申請の受付期間延長が決定しました。（ポイント付与対象期間は従来通り、平成二六年九月三〇日までの工事着手※及び製品購入となります。）※工事請負契約書の締結時点。このほか、根切り工事又は基礎杭打ち工事に着手した時点も含む。

一、ポイント発行受付期間

平成二五年七月一日～平成二七年五月三十一日（当日消印有効）

ポイント申請期限は平成二七年五月三十一日まで延長されましたが、ポイントの発行が予算に達した場合には、申請期限が終了前であってもポイントの発行は終了となります。

〈木材利用ポイント全国の発行状況〉

時期(月)	木造住宅		内装・外装木質化		木造住宅+木質化		住宅合計		ストーブ/木製品	
	件数	ポイント(百万)	件数	ポイント(百万)	件数	ポイント(百万)	件数	ポイント(百万)	件数	ポイント(百万)
7	8	2	7	1	—	—	15	3	11	1
8	133	40	71	9	22	10	226	59	89	3
9	492	149	261	34	105	49	858	232	164	7
10	1,199	365	775	108	355	171	2,329	644	486	19
11	1,860	570	886	131	498	235	3,244	936	457	18
12	2,474	753	1,208	186	797	370	4,479	1,308	587	23
1	3,394	1,036	1,728	264	955	447	6,077	1,747	902	36
2	4,256	1,292	2,173	342	1,234	588	7,663	2,222	942	37
3	4,387	1,343	2,028	322	1,282	618	7,697	2,283	750	29
4	4,163	1,273	1,917	310	1,222	594	7,302	2,176	923	37
5	4,441	1,359	2,095	337	1,474	713	8,010	2,410	705	29
6	5,998	1,829	2,251	353	1,588	762	9,837	2,944	551	23
7	6,432	1,963	3,220	505	1,959	941	11,611	3,409	572	22
8	3,044	935	5,321	844	1,603	767	9,968	2,546	617	25
累計	39,225	12,906	18,616	844	11,487	767	69,328	22,919	8	309



〈県内ポイント発行状況〉

	木造住宅		内装・外装木質化		木造住宅+木質化		合計	
	件数	ポイント(千)	件数	ポイント(千)	件数	ポイント(千)	件数	ポイント(千)
8	5	1,500	—	—	1	355	6	1,855
9	5	2,300	2	266	1	577	8	3,143
10	23	8,100	5	758	7	4,042	35	12,900
11	39	14,500	7	625	12	7,332	58	22,457
12	43	16,100	24	3,342	18	9,563	85	29,005
1	83	30,700	18	3,598	24	12,944	125	47,242
2	80	28,000	31	5,419	40	24,427	151	57,846
3	94	33,600	11	1,664	34	19,470	139	54,734
4	102	36,200	18	3,046	30	17,186	150	56,432
5	111	41,100	19	3,948	43	23,684	173	68,732
6	140	49,800	29	4,992	38	23,684	207	75,333
7	148	53,600	55	9,063	59	23,684	262	96,340
8	119	43,900	113	16,288	63	35,668	295	95,856
累計	992	359,400	332	53,009	370	202,616	1,694	621,875

左表のように、八月末時点で二億ポイント以上が発行されており、十月現在では、事務費、広告費を差引いたポイント発行予算の半分以上が消化されていると思われるので、早目の申請をおすすめします。

二、交換申請の受付期間
平成二五年七月一日～平成二七年十月三十一日（当日消印有効）

平成26年	平成27年												
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ポイント付与対象期間 (工事着手、製品購入)	平成26年9月30日に終了しました。												
ポイント発行申請期間	期限：平成27年5月31日まで												
交換申請期間	期限：平成27年10月31日まで												



素材の価格〈工場着価格〉(7月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	10 (9~10)	0	9 (8~10)	0
		10~13		並	スギ	12 (9~15)	△1	8 (8~8)	0	11 (10~13)	0	11 (8~15)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	14 (13~15)	0	10 (10~10)	0	13 (12~14)	0	13 (10~15)	0
				並	ヒノキ	15 (14~16)	0	(0~0)	0	18 (18~18)	△1	16 (14~18)	△1
		6.00	並	スギ	18 (16~21)	0	8 (8~8)	0	16 (14~18)	△1	16 (8~21)	0	
			並	ヒノキ	27 (27~27)	0	(0~0)	0	24 (20~28)	△1	25 (20~28)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	13 (11~15)	△1	12 (12~12)	0	13 (12~13)	△1	13 (11~15)	0	
		4.00	並	アカマツ	9 (7~10)	0	(0~0)	0	8 (6~10)	△2	8 (6~10)	△1	
		1.80	並		7 (5~8)	0	(0~0)	0	7 (5~8)	△1	7 (5~8)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)	0	(0~0)	0	31 (26~35)	0	31 (26~35)	0
並				米マツ	33 (33~33)	0	29 (29~29)	0	32 (29~35)	0	32 (29~35)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	27 (26~28)	0	27 (26~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	32 (28~36)	0	32 (28~36)	0	
70~90		8~14	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	26 (23~28)	0	26 (23~28)	0	
			並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	0	(0~0)	0	3 (3~3)	0	3 (3~3)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	0	(0~0)	0	3 (3~3)	0	3 (3~3)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	7 (6~7)	0	8 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	8 (7~8)	0	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	10 (8~12)	1	11 (10~12)	2

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

六月の原木市場への入荷状況は、前月比一四割増(前年比一八割増)の二五、四五七立方メートルとなっている。
 販売量については、前月比一五割増(前年比二〇割増)の二五、三二二立方メートルとなっている。
 一、六月の取扱量は、入荷量・販売量共に一〇割の増となっている。
 七月の価格については、全体として保合となっているが、一部下落が続いている。



伝承

古くから伝えられた語り(伝承)のその多くは口伝によるものが多い。その根底に真実はあるが、語り伝えられる度に微妙に変化したり、後世の人が手を加えたりして全く違った内容に変わってしまうことも少なくない。

◆会津盆地を西に会津坂下町方面を望むと標高四百米余りの高寺山を見ることが出来る。山裾には会津少年自然の家や温泉施設などがあり、町によると会津百名山で最も早く山開きするそうだ。そんな高寺山に関する面白い話がある。「昔この山には高寺大伽藍があったが、慧日寺との勢力争いに負け焼失した。現在会津盆地にある多くの寺院はそこから下ったものだ。」と地元では語られている。

会津藩が編纂した新編会津風土記には「五四〇年に梁国(中国)の僧、青巖(岩)山中に草庵を営む。次第に繁栄し堂舎、子院三千余に及ぶ。七十五年兵火に罹り遂に廃絶す(要旨)」とあるそうだ。事実、鐘撞

会津農林事務所
 森林林業部 荒明 富喜

堂峠・塔寺・気多宮・宇内(院内)・大門など近辺には寺を連想させる地名が多い。果たしてこの話が真実かどうか。青巖が草庵を営んだとされる頃は、仏教公伝の年と前後しているので、年代としては問題ない。越後から川を上り川井でその地を踏んだとされていることから、公伝ではなく民間経由であったと考えられる。一方で、慧日寺は八〇七年徳一人人によって開かれているので、七五年に焼失した高寺とは接点がない。さらには山そのものに痕跡すらないのだ。

◆前述したように伝承は語り継がれる度その内容が微妙に変化してることが多い。「高寺は無かった」と言っている郷土史家もいる。私も無かったという思いが強い。それでも「あった」と信じている地区の人々は少なくない。
 ◆秋の夜長、そんなことを考えながらコップを片手に(尿酸と格闘しながら)郷土史を読むのも面白い。



秋祭りの季節

秋祭りの季節である。私の住む飯坂町（福島市）では十月第一土曜日には日本三大けんか祭りがある。湯の町が祭で一色になる。祭には日本の「生きる力」がまつまっている。

春と秋は、豊作祈願と感謝祭、小もののファッション。神輿に施された伝統工芸の技術・担ぎ方がそれぞれである。

農閑期である冬は、魂を充実していく季節。

台風除けの祭が富山県「越中おわら風の盆」。

けんか祭りのときの婦人との出会い。

宿でひとり聞く祭の太鼓の音色、何を想う。

季節の移り変わりに寄り添う人々の営みがあり、日本人の季節感が祭に凝縮されている。

担ぎ手として。けんか祭りの「若連」名簿に登録しており、地元に戻ってくる。担ぎ手のリズム、秋祭りが終わるころ、一気に秋が深まる。

（都）

表紙の写真



「深まりゆく秋」

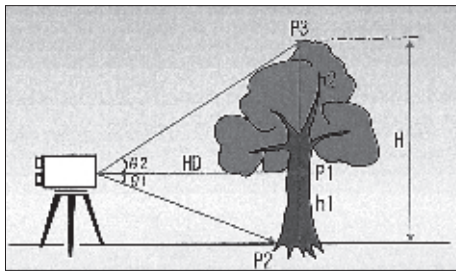
第28回ふくしま緑の写真コンクールで入選を受賞した中川秀男さん（いわき市）の作品。

編集 福 島 県 内 四 森 林 管 理 署
福 島 県 森 林 ・ 林 業 ・ 緑 化 協 会
福 島 県 森 林 組 合 連 合 会
福 島 県 農 業 協 同 組 合 連 合 会
福 島 県 農 林 種 苗 農 業 協 同 組 合
ふくしま緑の森づくり公社
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福 島 県 森 林 ・ 林 業 ・ 緑 化 協 会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）

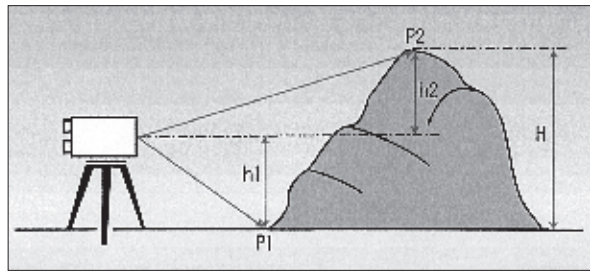
発 行 人 相 馬 雅 俊
発 行 社 陽 光 社 印 刷 株 式 会 社
（定価 一〇八円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

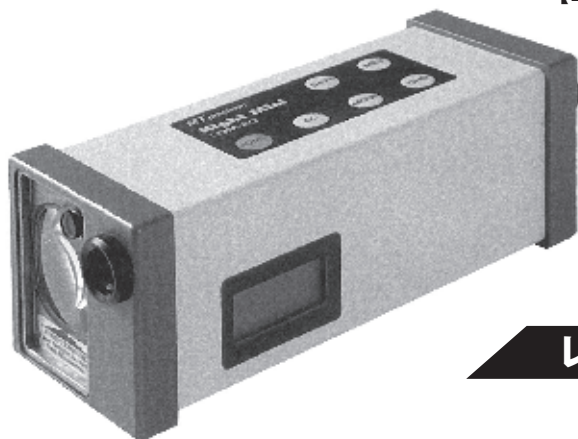


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測 距 範 囲	反射板 無30m 有300m
測 距 精 度	± 5 mm
傾斜センサー分析能	0.1
測 定 寸 法	高さ・水平距離・斜距離
重 量	W64・H64・D180
付 属 品	650 g
	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

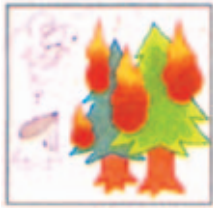
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



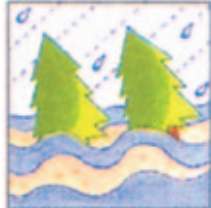
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



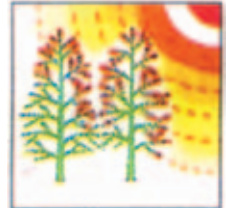
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モーターおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL (楽退治)
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る
住化グリーン®の林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。 機器はゼノアから

チッパシュレッダ



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,375,000(税抜)

プロソー



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥108,000(税抜)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥133,700(税抜)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1